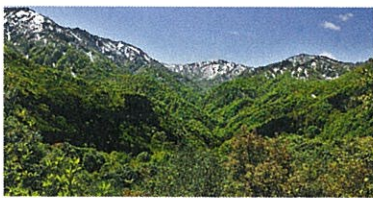




▲岩の上のひな休み。お母さんひなもつれて過すひなたち。6月24日。これも青森県深浦町で浜田哲三さん撮影



【白神山地】青森県南西部と秋田県北西部にまたがる山岳地帯で、人の影響をほとんど受けていないブナの原生林が残ります。クマガイやツキノワグマを始め、多くの貴重な動物がみられます。中心部の1万6971ヘクタールが1993年、鹿児島県の屋久島とともに日本初の世界自然遺産に登録されました。

【シノリガモ】海ガモの仲間。体長38～46センチ、翼を広げると約70センチ近くになります。大人のおすは、黒っぽい茶色の体に赤や白の模様があり、ピエロに似ていることから欧米ではハレクインダック（ピエロのカモ）と呼ばれます。青森県などの記録では、国内で最初に繁殖が確認されたのは1976年、白神山地の赤石川源流域とされています。



水中でえさを食べ終わると、露うように岩に登って休憩。▲その姿は羽の短いペンギンのように見えます＝6月24日



カモに姿を見られないように、テントから観察する子どもたち。右から菊池さん、上杉さん、榎方さん＝7月24日

まだ水が冷たい川で水生昆虫を採集する3人＝4月4日

故郷の川を繁殖場所を選んでくれた希少な鳥を、大切にしたいと思う子どもたちの行動が、地域や行政を巻き込んだ保護活動へ広がりはじめます。

「好きこそものの上手なれ。夏休みは学校の教科にしはられないで、いつもはできないこと（ゴキブリ）をみまじ（みまじ）」



「あ、来たー！ん、かわいい。身をかくすテナントの中で、3人の児童がささやきあいます。去年11月から、シノリガモの観察しようと思いついた

「夏休み、宿題は面倒ですか？時間がたつぷりといわれる時期は、得意な教科をのぼしたり、苦手分野を克服したりするのにぴったりです。去年まで朝小で「ひとりで学べる算数」を連載していた仲松庸次さんに、夏休みの勉強法を聞きました。（林えり）

白神のカモを見守る

お母さんの後を一生懸命に追いかけるひなたち。まだヨチヨチとしか岩に登れません＝6月24日



世界自然遺産・白神山地のふもとと青森県深浦町を流れる川で、絶滅が心配されるシノリガモが子育てを続けています。その生態や行動の調査に、地元の小学生たちが取り組み始めました。国内で継続的に繁殖が確認される例はめずらしく、子どもたちの活動に環境省なども注目しています。（執筆家・浜田律子）

地元の小学生、希少な鳥の保護へ取り組み
ブナの原生林が広がる白神山地の清流にカモの親子が姿を見せました。6羽ずつのひなが2組、計12羽がそれぞれの母鳥に連れられて、急流をさかのぼるように泳ぎ回ります。

「この川を子育てに選んでくれた」

の観察を続けているのは、町立いわさき小学校の6年生、上杉かえでさん、菊池理花さん、榎方みなみさんです。授業がない週末に、えさの水生昆虫採集や川の透明度、水温・気温などを測定。親子の細かな行動も記録します。きっかけは、3年前に都会から移住してきた私たちが夫婦との出会いでした。写真家の夫・哲三が撮った白神山地の動物写真を見て、いっしょに希少な鳥を観察しようと思いついたのです。

渡り鳥であるシノリガモは、秋から冬に越冬のため日本列島に飛来します。多くが春先、北国へ帰りますが、一部が東北地方から北の山深い溪流に残って繁殖するので、たまたま、その数は少なく、行動も謎に包まれており、継続的に調査された記録はほとんどありません。

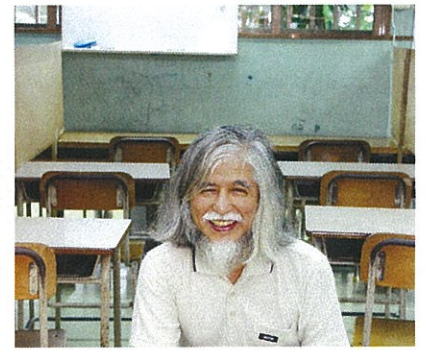
東北より北で繁殖するシノリガモをレッドリストで絶滅のおそれのある地域・個体群に指定する環境省も、「情報が不足しており、貴重なデータが集まれば活用も検討したい」と期待を寄せています。

しかし、この川では去年から、県が砂防ダムを改修し、魚道を整備する工事を始めました。水ににごりが出たり、土砂が流れこんだりすると、清流を好むシノリガモが子育てしなくなる可能性があります。

夏休み「できる!」「やろう!」で算数力つけよう

朝小でおなじみ・仲松庸次さんに聞く
時間決め簡単な問題から

なかまつ・ようじ 1952年沖縄県生まれ。金沢大学卒業。87年、郷里の沖縄に個人学習塾「セルフ塾」を開く。朝小の連載をまとめた『ひとりで学べる算数』は、小学4年から6年生まで計3巻刊行（朝日学生新聞社、各1575円）。インターネットで著者による無料音声講義が見られる。12月には小学3年生、来年2月には小学2年生を刊行予定。



沖繩県読谷村で個別学習塾を始めて27年の仲松さん。夏休みに算数の力をつけるコツは「学校の授業で習った順番を気にせずに、簡単な問題から早めに取りかかること。『できる』と話します。『次ももうこうという気持ちになります。成功感や達成感を味わってほしいですね』

「そうはいっても、楽しい夏休み。勉強以外のことを楽しんでほしい。子どもが解いたものを採点していただき、子どもの気持ちを引き取り、集中力がアップしますよ」

たくさん時間がある夏休みに仲松さんのおススメするのは読書です。本を読むことで興味の対象が広がります。仲松さんが、理科を好きになったきっかけも読書でした。